



園目標 「富士のもと のびやかにあそぶ子」

小学校から、うさぎ小屋を解体するためうさぎを飼って欲しい、という依頼がありました。動物の飼育は子どもたちにとって様々な経験や学びがありとても良いことではありますが、保育者から、「うさぎの世話をしてください」というのではなく、子ども達自ら「飼ってみたい！世話をしたい。」と、自主性を育てたく子ども達に相談しました。

保育者：「小学校のウサギの小屋が取り壊されてしまうようで、うさぎたちが『困ったよー。困ったよー。お家になく なっちゃうよー。』と、泣いて話しているところを聞いたんだけど・・・。」と、言う **子ども**：「こども園で飼えばいいじ ゃ。」「僕たちがお世話するよ。」 **保育者**：「えー、でも、2羽もいるんだよ。」 **保育者**：「大丈夫だよ！ぼんだ組と きりん組で飼えばいいじゃ。」 **保育者**：「でも、小屋がないし・・・。」 **子ども**：「段ボールに入れればいいよ。」「段ボ ールは、うさぎが食べて穴が空いちゃうよ。」「うちのうさぎはオリ(ゲージ)みたいなもので飼っているよ。」「じゃー、 事務長さんに頼んでみよう！」と、話が予想外に進み、うさぎを飼うことになりました。そして、12日に3年生から いただきました。3年は2羽の特徴や世話の仕方を説明してくれたり、手作りの説明書を5歳児一人一人に渡して くれたりしてくれました。そして、「頑張ってお世話をします。」と約束をして引き継ぎをしました。

翌日から、5歳児が、家から野菜や新聞紙などを持ってきて、手にはビニールの手袋をして、えさやりやゲージ の掃除をしてくれています。0～4歳児もうさぎに興味津々に見たり触ったりしています。先日は、うさぎがゲージか ら逃げ出してしまい大騒ぎになりました。こんなハプニングも大事な学びの場と捉えながら、子ども達の意欲的な 姿を見守りつつ、うさぎとの触れ合いをとおして、生命の尊さやかわいがる気持ち・責任感などを育てていきたいと思 います。

いよいよ3月となり、卒園・修了を迎える時期となりました。子ども達は、入学、進級と新たな期待に胸を膨らませ、 日々元気に過ごしています。この1年間、いろいろな人と出会い、いろいろなことに挑戦し、たくさんのかんじを 周りの人に受け止めてもらうことで、心も体も大きくなりました。私たち職員も子どもたちから様々なことを学び、そ の可能性の大きさを実感しました。残り少なくなりましたが、一日一日を大切に過ごしていきたいと思ひます。保護 者の方やご家族の皆様には様々な面で行き届かないことや御迷惑をお掛けしたこともたくさんありましたが、温かい 御理解と御協力に心より感謝いたします。ありがとうございました。

3月	保育・教育目標
《5歳児》	<ul style="list-style-type: none"> ・修了までの生活に見通しをもち、意欲的に活動を進めていく。 ・自分の力を十分に発揮し、友だちと協力をしながら活動を進めていくことを楽しむ。
《4歳児》	<ul style="list-style-type: none"> ・年長になることに期待をもって、いろいろな活動に取り組む。 ・様々な生活体験を自分の遊びに活かして遊ぶ。
《3歳児》	<ul style="list-style-type: none"> ・気の合う友だちと一緒に好きな遊びを楽しむ。 ・大きくなったことを喜び、進級に期待をもつ。
《2歳児》	<ul style="list-style-type: none"> ・少人数での友だちとかかわり、会話ややりとりを楽しみながら遊ぶ。 ・身の回りのことに興味をもち、自分でしようとする。
《1歳児》	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者や友だちとかかわって言葉のやりとりを楽しむ。
《0歳児》	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者に見守られて、好奇心を満たし、探索活動を十分に楽しむ。



お知らせ・お願い

☆長時間利用児保護者の方へ

給食は3月26日(火)が最終日になります。4月2日(火)まで**弁当・水筒・おやつ(飲み物も含む)**を持参してください。現5歳児は、新年度準備のため3月25日(月)より午睡をしますので、布団を持参ください。

☆職員紹介 ～よろしくお願ひします～

- ・原田みゆき先生…学年支援で、週2～3日勤務します。
- ・関根美幸さん…給食の調理員さんです。

